

貴重書の世界

—宮城県図書館所蔵—

古活字版(こかつじばん)

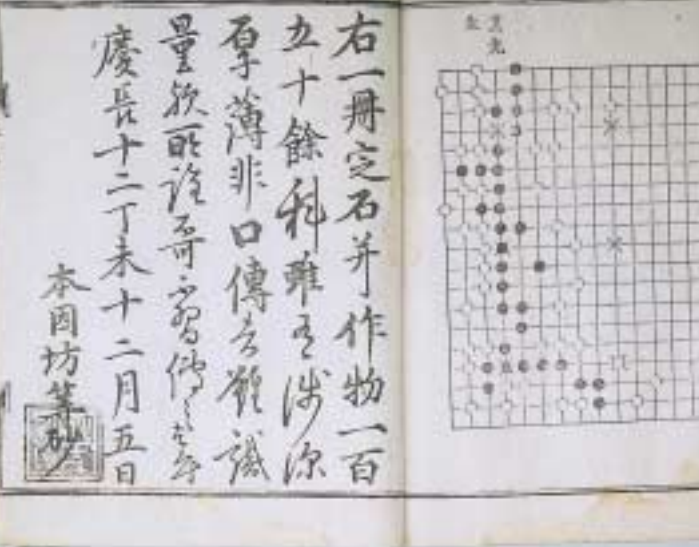
日本の活字印刷は、安土桃山時代末期(1593年頃)からはじまって、江戸時代初期(1640年頃)まで続くが、近世後期に再び行われる近世木活字と区別して古活字版と称する。古活字版は約50年で終わり、もとの木版印刷にとって代わられるのは、読者層が広がり、出版業が成立したことによる。小回りはきくが小規模出版向きの古活字では間に合わなくなったからである。

古活字版において重要なことは、初めて日本の古典が印刷されたこと。日本書紀、万葉集、源氏物語、伊勢物語など、数多い。また古活字版は出版点数が少ないこともあって、現今では全て貴重本視されている。

本館には13点163冊あり、すべてが伊達文庫である。写真は囲碁の本としては最初の刊行物である『碁経』で、慶長12年(1607)に出版された。左側の奥書(おくがき)と右側の棋譜は木版印刷で、棋譜の上下の文字のみが木活字で印刷されたもの。

(資料奉仕部 萱場健之)

と き 空 を こ え て



『碁経』(古活字版 1607年)
(ごきょう)

わたしのこの一冊

My Favorite Book

『レオナルド・ダ・ヴィンチ素描集 第2輯 ウインザー城王室図書館蔵』

レオナルド・ダ・ヴィンチ 岩波書店 1990年

「ダ・ヴィンチの馬」 仙台市 菊地信義

レオナルドの真筆写真と対面した。一枚一枚が、見事である。題材は動物であるが、馬が最も多い。部分だけのもの、全体像、さまざまな角度からの馬、馬、馬。仏つくって魂を入れる、これらは画龍点睛、馬を画いて目を入れている。どの馬も目によって生きている。これらの馬に、鎧・兜の武者が手綱を取れば、騎馬武者であり、『平家物語』の合戦となり、黒澤映画の合戦シーンとなる。

1505年前後の事、イタリアはフィレンツェの、市庁舎ヴェッキオ宮の大会議室の壁面に、名画が誕生しつつあった。「アンギアーリの戦い」という題名で、ミラノ軍を撃破したフィレンツェ軍の勝利の一大フレスコ画が、二人の天才によって、共同制作されつつあった。53歳のレオナルドと30歳のミケランジェロ。しかし、いかなる理由からか、この制作は中止され、放棄された。雄大な騎馬合戦となるはずの壁画は、偉大な芸術家の胸中の幻の合作壁画に終わった。ルネサンスの惜しむべき夢物語である。

夢と言えば、「旅に病で夢は枯野をかけ廻る」を辞世の句とした、元禄の松尾芭蕉は、彼の遺言どおり、琵琶湖畔の木曾殿の塚の隣りに埋葬された。そう言えば、今日1月20日は、『平家物語』の悲運の武将、木曾義仲の命日である。

ダ・ヴィンチの馬生き生きと義仲忌

INFORMATION

図書館からのお知らせ

からだの不自由な方に

- ①字幕・手話付きビデオの貸出
対象/耳の不自由な方
内容/映画やテレビ番組などのビデオ
- ②録音図書(録音)の貸出
対象/からだの不自由な方
内容/小説・実用書等を録音したもの

※目の不自由な方には、図書や新聞記事などの朗読サービスも行っていますので、ご利用ください。

●平成12年4月から
祝日も開館します

「地形広場」・「としょかんギャラリー」の開放

- 地形広場
朗読劇、ミニコンサート等の発表の場として開放します。
- としょかんギャラリー
オープン・スペースを絵画、彫刻等の展示、発表の場として開放します。

対象/営利を目的とせず、催しを開催する方
お問い合わせ先/総務班 TEL 022-377-8441

2000年は「子ども読書年」、 そして「図書館法公布50周年」です

宮城県図書館では、記念行事(6月と10月頃)を企画しています。詳しい内容と日時が決まりましたら、改めてお知らせします。ぜひご参加ください。

図書館Q&A

Q 県の図書館が遠くて、身近に利用できません。どうしたら良いでしょうか。(本吉町 Sさん)

A 県図書館は、市町村図書館等に対して資料の貸出や相談業務の援助を行っています。また、あなたのまちの図書館でお探しの本がない時、図書館同士お互いに利用できるしくみ(相互貸借)があります。県図書館の蔵書を検索できる館では、ネットワークが威力を発揮しています。あなたのまちの図書館や公民館図書室に足を運ばれてはいかがでしょうか。

このコーナーへのご質問は、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入のうえ、はがきで図書館までお寄せください。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代の国語辞典『言海(げんかい)』(1889~1891年刊行)に由来する。

編集・発行 ● 宮城県図書館

〒981-3205
宮城県仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL 022 (377) 8441 (代表)
FAX 022 (377) 8484



◆表紙エッセイ/とよた かずひこさん◆

豊田一彦。絵本作家。1947年仙台市生まれ。東六番丁小、東北大(現宮教大)付属中、仙台二高、早稲田大学第一文学部卒。小牛田町をヒントにした『でんしゃにのって』をはじめとする「うららちゃんののりものえほん」シリーズや「ワニのバルボン」シリーズ(以上アリス館)「しろくまパパとあそぼう」シリーズ(岩崎書店)などの作品がある。日本児童出版美術家連盟会員。